

大地震の警報を「3日前」
迄に「お知らせ」します。

< JYAN研 >
地震予知安全ネット

どこにでも 起きる 地震

毎年、世界のどこかで、多くの方が亡くなっています。(数百人～数千～数万人)
予報があれば1 / 10 という試算有！

阪神淡路大震災

1995.1.17(約6千5百人)



長田区海運町・17日



救助・救急隊も現場に寄り付けない

全国から、緊急消防援助隊が神戸に駆け付けたが市街地に入れず、活動が困難だった。◎地震災害は予知しか防ぐ方法は無かった。



東日本大震災

2011.3.11(約2万人)



海が燃えた！



まさかこんな津波が来るとは！？

この災害は想定外と言われたが、実は、地震学者・気象庁・行政・住民等の間違いだらけ？の災害だったのです。◎三陸はハザードマップで地震の来ない所とされ、津波も、3～5m高が、奥では15mもあった。

命を守る事が困難な
「大地震」ですが

特に
「今、死んだら困る！」と
言う方

生き残る方法が 一つだけ あります。

揺れの地震計は使わず、地下からの
「電磁気を観測」します。

地震計は予知が困難でした。そこで
地表の電磁気(3種類)を観測しています。

10年かけ、観測網で検証実験完遂

FM電波200波と各データを照合実施

震度6～7は、≒100%覚知できます。

JYAN研の 地震予知情報

電磁波観測で=天気予報のように地震予報発表

(予報) 注意報 警戒報 警報 特別警報

(いつ) 1ヶ月 1週間 数日前 数時間前

(場所) 1月前=地方単位 1週間前=県単位

震源直上は**3日前**=市町村単位

(大きさ) **各地の予想震度 ±0.5**

震源の場所、揺れの大きさ、揺れの回数を発表

観測室
(機器)
無線免
許は
第1級



誰でも思い当たる 地震前兆現象

AMラジオがノイズで聞きづらくなったら要注意（雷は別です）

LF~HF帯で「バリツ」等のパルスノイズが次第に強くなれば要警戒

ラジオでノイズがS7とかS9に音が強くなれば、地震が近い証拠です！

V/UHF（50MHz）で「パリパリノイズやガーガーノイズ」の断続が続き、次第に大きくなれば警戒を要する信号です。

Eスポ＝特異伝搬が無いとき、の秋冬春時の異常伝搬は特に注意が必要です！

ダクト通信（梅雨時）が、無い時期のエコー伝搬は特に注意！

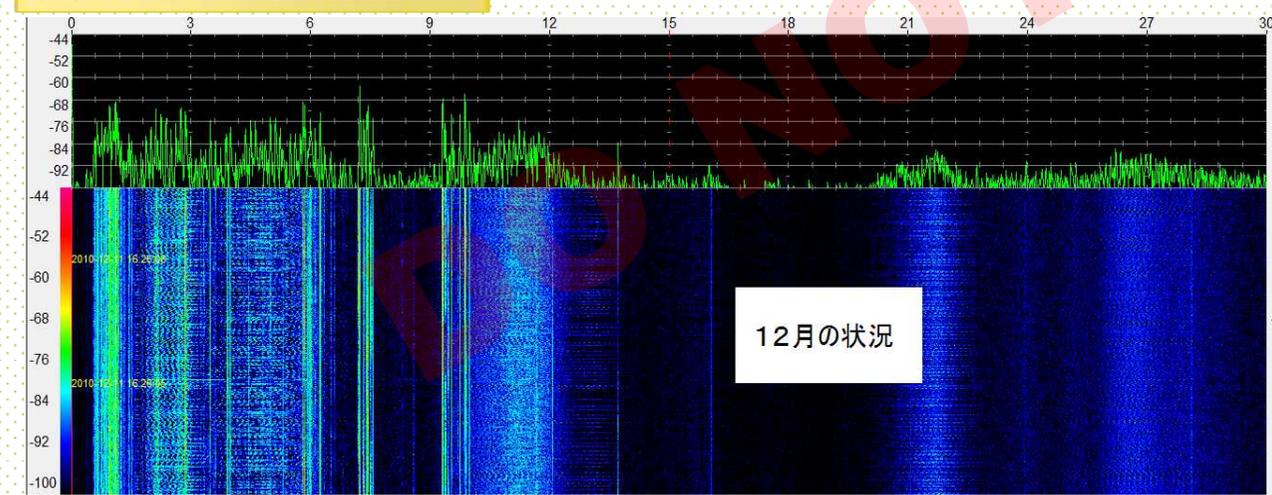
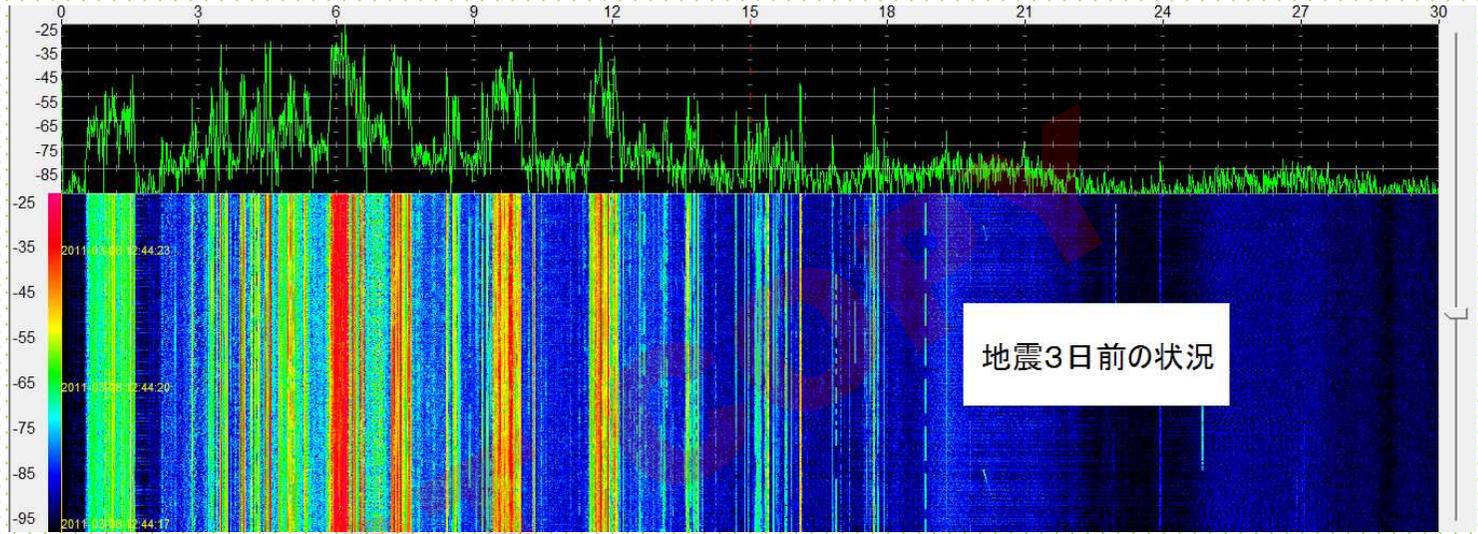
テレビ等々のリモコンがおかしい！電波時計が変？は大地震が近づいています。

カーナビ装置がおかしい！は、変になった所あたりに大地震の震源が近い。

雲、光、カラス、ネズミ、ミミズ、犬等々の異常も静電気や電磁気パルス等が原因です。自然現象を見落としてはいけません。

東日本大震災 (短波帯の変化)

通常するとき



地震前の電波
の変化を現す
色の様子が
全然違いました。

